

東白杵北部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年3月 東白杵農林振興局
（東白杵北部農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 のべおか里山塾成果報告会
 - 2 子牛セリ市が開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 2～4)
 - [総合プロジェクト関係]
 - [専門プロジェクト関係]
 - 1 【総合1】新規就農者等に対する個別支援
 - 2 【総合1】新規就農者育成総合対策事業等の交付対象者の就農状況確認
 - 3 【総合1】農業経営コンサル（中央基本コンサル）事後支援活動
 - 4 【総合2】延岡地域稲作研修会役員会を開催
 - 5 【専門2】延岡地区で釜炒り茶製茶研修を開催
 - 6 【専門3】たまねぎ機械化関連実証ほの調査
 - 7 【専門4】シキミ生産者の個別巡回を実施
 - 8 【専門4】北川町しきみ部会の役員会で次年度の取組案を説明
 - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 5)
 - 1 東白杵北部地区農業経営指導士による普及指導活動計画に係る意見交換会
 - 2 きゅうりの栽培技術支援

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 のべおか里山塾成果報告会

5日、のべおか里山塾の成果報告会が、延岡市、県、事業者等約20名を対象に開催されました（一部オンライン）。

令和5年度から3か年にかけて計12回の里山塾で延べ563名が鳥獣対策の講座等を受講されたことが報告されました。併せて三菱電機等と進めてきたシカの追い払い機について成果が上がったことや、スマート捕獲事業によるドローンでのシカの状況調査、北海道大学池田名誉教授と三菱電機で実施したアライグマの生息調査についても報告がありました。

引き続き、来年度もスマート捕獲事業を導入する予定となっており、延岡市での鳥獣被害対策が進むことが期待されます。

2 子牛セリ市が開催

6日、延岡家畜市場において、3月期の子牛セリ市が開催されました。

平均価格（速報）は、雌757千円（174頭）、去勢879千円（198頭）で、全平均では、822千円となり、前回（1月）比、約68千円高での取引となりました。

全国的な頭数減少の影響で高値での取引となり、生産者からは喜びの声が聞かれる一方、枝肉相場は上がっていないことから、この高値は一時的なものかもしれない、油断大敵と考えている生産者が多いと感じました。

セリ前の研修会では、東臼杵南部農業改良普及センターからサシバエ対策や、農作業安全対策についての情報提供がありました。



3月期子牛セリ市

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合プロジェクト関係]

[専門プロジェクト関係]

1 【総合1】新規就農者等に対する個別支援

新規就農者2名に対し、以下の個別支援を実施しました。

①令和3年就農者（施設野菜）：9日、ほ場にて栽培状況を確認しました。また、18日も同様に、県総合農業試験場専門技術センターの野菜担当職員と共に、栽培状況の確認や次作に向けた検討を行いました。

②令和7年就農者（施設野菜）：18日、ほ場にて、県総合農業試験場専門技術センターの野菜担当職員と共に、栽培状況の確認や次作に向けた検討を行いました。

今回の支援により各対象者の課題整理が進み、経営発展への意欲が確認できました。今後も関係機関と連携し、早期の経営安定と定着に向けた支援を継続します。

2 【総合1】新規就農者育成総合対策事業等の交付対象者の就農状況確認

12日から26日の期間のうち6日間で、新規就農者育成総合対策事業経営開始資金等の受給農家14名に対して、市、JA、振興局、普及センターの支援チームで、営農状況の現地確認を行いました。

営農状況の聞き取りの結果、いずれの新規就農者も営農意欲が高く、目標所得の達成に向け、営農品目の見直しや経費削減に取り組まれていることが確認されました。

今後も関係者で連携して、就農計画の実現にむけた支援を行っていく予定です。

【巡回状況】

水稲・露地野菜複合1名、露地野菜1法人、施設野菜7名、露地・施設野菜複合1名、露地花き4名

3 【総合1】農業経営コンサル（中央基本コンサル）事後支援活動

18日、支援対象者1名に対し、経営発展に向けて令和6年度に実施した農業経営コンサル（中央基本コンサル）の事後支援活動をJAみやざき、県専技センター、普及センターで連携して実施しました。前回の検討会での助言から10か月経過した時点での対応状況等を聞き取った上で、経営改善に向けた意見交換を行いました。目標とする売上高を達成するための、病害虫対策に関する専技からの助言が大変参考になったようです。

今後も、普及センターや専技の巡回による技術改善支援を継続するとともに、経営管理についても「資金繰り表」の作成を含む支援を行っていく予定です。

4 【総合2】延岡地域稲作研修会役員会を開催

25日、延岡地域稲作研究会役員会が開催されました。役員会では令和8年度における会の運営や4月に行われる総会の内容について協議を行いました。

普及センターは、令和8年度の対策に向けて、先進地視察先や各種展示圃設置について助言を行いました。役員からは、「来年度の研修会の内容についてアンケートなどで会員の意見を聞き反映させた方が良い」や「もっと皆が参加しやすい時期に研修会を追加してはどうか」といった意見が出されました。

普及センターとしましては、稲作研究会会員の技術向上に寄与できるよう、引き続き支援をしていきます。

5 【専門2】延岡地区で釜炒り茶製茶研修を開催

19日、延岡市北方町において、全国茶品評会対策としての釜炒り茶製茶研修（主催：宮崎県）が開催されました。講師は専門技術センターの職員が務め、普及センターと連携して研修会を進めました。管内からは8名の茶生産者が参加し、実際に製茶を行いながら、製造上のポイントの確認を行いました。

製茶研修を通じて各行程の確認を行ったことで、参加した生産者からは「一番茶製造に向けた良い復習になった」といった意見が聞かれました。

現在、全国茶品評会の出品茶園では液肥散布や防霜対策などを行っており、4月から始まる製造本番へ向けた準備を進めています。普及センターとしましては、試験場・関係機関と連携しながら技術指導及び製造支援を行い、令和8年度も上位入賞と産地賞の獲得を目指していきます。



管内茶工場での製茶研修会

6 【専門3】 たまねぎ機械化関連実証ほの調査

10日、本年度実証を行っている早生たまねぎの直播栽培ほ場及び機械化栽培体系におけるマルチ比較試験ほ場の生育調査を実施しました。

調査データについて、実証農家2名及び営振協野菜部会員11名と収穫時期や各種マルチの効果、技術の改善点について検討したことで、課題についての共通認識化が図られました。

たまねぎの機械化について、機械の導入は進みつつあるものの、機械化に付随した技術の確立ができていないため、今後も実証による技術改善と農家や関係機関との意見交換を実施し、地域に適した機械化体系の確立を目指していきます。



マルチ比較試験ほ場

7 【専門4】 シキミ生産者の個別巡回を実施

25日、北川町にて関係機関4名が参加し、シキミ生産者3名の個別巡回を行いました。

今回は昨年10月に続いて過去に青年等就農計画を作成し、補助事業を活用した若手生産者を対象として、現状や課題等について調査、確認しました。今年の春彼岸向け出荷は、一部の系統で葉色が薄いものが問題になりましたが、収量は例年並みに確保できたとのことでした。

就農から5年以上経過し、当初の目標を概ね達成できている生産者については、さらに経営を発展させるための課題を前向きに考えられていることが分かりました。その課題の中には普及センターで技術的に対応できそうな内容もありましたので、今後の経営改善に向けて、引き続き関係機関と連携しながら支援に取り組めます。



シキミ品質の確認

8 【専門4】 北川町しきみ部会の役員会で次年度の取組案を説明

27日、JAみやざき延岡地区本部北川支店にて、生産者4名、関係者4名が参加し、北川町しきみ部会役員会が実施されました。

普及センターから、延岡地区営農振興協議会花き部会で事前に検討した令和8年度にシキミで取り組む予定の現地試験等の内容を説明し、役員との意見交換を行いました。ドローン防除を部会の各支部で行う現地検討会について、生産者から散布時期や実施規模等に対する意見が出されたほか、育苗試験についても関心を持ったようでした。

今後生産者の意見も踏まえながら試験等の計画を精査し、現地の実情に応じた試験に取り組むことで、栽培管理の改善につなげたいと考えています。



2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 東白杵北部地区農業経営指導士による普及指導活動計画に係る意見交換会

11日、本地区農業経営指導士を一堂に集め、令和7年度普及実績及び令和8年度普及計画について普及センターから説明を行い、意見交換を実施しました。

今回、新規就農者支援、スマート農業の推進と基盤整備、野菜や畜産の生産技術、多様な人材の活躍と次世代育成等について質問や要望が出されました。

これらの「現場の切実な声」も踏まえて、次期5カ年計画の実現に向けて、普及活動の充実強化を図っていきます。

【主な質問・要望】

- ・新規就農者に対するライフプラン作成の支援状況
- ・乾田直播の結果
- ・空き牛舎の有効活用、自給飼料の品質、土づくりの推進
- ・経営継承における女性の役割の重要性
- ・たまねぎの全自動移植機のセル苗づくり及び直播栽培の可能性



意見交換会の様子

2 きゅうりの栽培技術支援

5、19日にきゅうり現地ほ場にて、きゅうりのリアルタイム診断及び生育調査を実施しました。

「リアルタイム診断」は、作物の栄養状態を植物の汁液や土壌中の硝酸イオン濃度等を測定し、その値から判断して施肥量を決定する方法です。本診断、調査については、2月から2週おきに実施しており、データを生産者に共有しつつ肥培管理等について検討し、管理の方向性を決める材料としてもらっています。

今後も各生産者の目標収量達成のために、引き続きリアルタイム診断や農家のニーズに合った講習会等を実施していきます。



リアルタイム診断のための調査